

1 富山県の動き

(1)概 況

本県経済をみると、個人消費は、このところ弱い動きとなっている。住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。公共投資は、このところ増加している。生産は、このところ弱含んでいる。雇用情勢は、改善している。一方で、人手不足感が高い水準となっている。企業倒産の件数は一桁台となっている。消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。以上のように**最近の本県の景気は、一部に弱さがみられるが、緩やかに回復している。**

先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に注意するとともに、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

県としては、引き続き、社会資本整備の推進、金融対策などの中小企業支援、産業振興と一体となった雇用創造、人手不足の分野における雇成型訓練等を内容とする経済・雇用対策に取り組むとともに、医薬・バイオなどの健康関連産業、環境・エネルギー関連産業、先端ものづくり産業の育成に向けたチャレンジに取り組むこととしている。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（9月）	103.5	7.1%	同水準
鉱工業在庫指数（9月）	111.3	4.9%	6.4%
大型小売店販売額（10月速報）	92億16百万円	（全店ベース）	▲9.0%
新設住宅着工戸数（10月）	597戸	15.0%	▲20.8%
消費者物価指数（10月・富山市）	101.7	0.4%	▲0.1%
有効求人倍率（10月・季節調整値）	1.86倍	0.01㊦㊧	▲0.11㊦㊧

※指数は、平成27年=100

(2)個人消費

個人消費は、このところ弱い動きとなっている。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、9月は100億51百万円の後、10月の速報値92億16百万円は前月比8.3%減（前年同月比9.0%減、既存店は前年同月比7.0%減）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、10月は2,553台で前年同月比29.5%減の後、11月は3,031台で同19.7%減となった。

(3)住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。新設住宅着工戸数をみると、9月は総戸数519戸（前年同月比4.9%減）の後、10月は総戸数597戸（同20.8%減）で、内訳をみると、持家は280戸（同7.0%減）、貸家は259戸（同35.1%減）、分譲住宅は55戸（同5.8%増）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和元年12月調査）により、2019年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比0.1%減となった（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比0.5%減、非製造業で前年度比0.2%増となった。

(5) 公共投資

公共投資は、このところ増加している。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、10月は112億52百万円で前年同月比16.5%増となり、令和元年8月－令和元年10月期の平均額は、102億30百万円で前年同期比1.8%減となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、このところ弱含んでいる。鉱工業生産指数（平成27年＝100、季節調整済）は、8月に96.6となった後、9月は前月比7.1%上昇の103.5（前年同月比同水準）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、化学工業、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業など12業種が上昇し、繊維工業が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、8月に106.1となった後、9月は前月比4.9%上昇の111.3（前年同月比6.4%上昇）となった。業種別に動きをみると、13業種中、化学工業、電気機械工業など9業種が上昇し、金属製品工業、輸送機械工業など3業種が低下、パルプ・紙・紙加工品工業が横ばいとなった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、改善している。一方で、人手不足感が高い水準となっている。月間有効求人数（パート含む。）は10月に27,468人（前年同月比5.0%減）、月間有効求職者数（パート含む。）は10月に14,462人（同0.5%増）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、9月に1.85倍の後、10月は1.86倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況をみると、10月に3件、負債総額50百万円（前年同月：2件減、3億53百万円減）の後、11月の件数は4件で、負債総額1億85百万円（前年同月：同水準、65百万円減）となった。産業別では、小売業が2件、卸売業、サービス業他が各1件だった。破綻原因は、販売不振が3件、その他が1件だった。

(9) 物価

消費者物価は、おおむね横ばいとなっている。富山市の消費者物価指数（平成27年＝100）をみると、総合指数は、9月は101.3で前月比0.1%上昇（前年同月比0.3%下落）となった後、10月は101.7で前月比0.4%上昇（前年同月比0.1%下落）となった。前月比で「交通・通信」、「教養娯楽」などが上昇したため、総合指数の前月比は上昇。また、生鮮食品を除く総合指数は101.6で、前月比は0.6%上昇（前年同月比0.1%上昇）、生鮮食品の指数は104.3で、前月比3.7%下落（同5.2%下落）となっている。

(10) その他の動き

① 工業の動き（10月～11月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>ロボット関連については、生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、不足している。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>半導体については、生産、出荷ともに減少となっている。現状は堅調、見通しは低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
輸送機械	<p>現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
鉄鋼	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は増加となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、不足している。</p> <p>医薬品については、生産は横ばい、出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産は横ばい、出荷は増加となっている。現状は堅調、見通しは低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
木材・木製品	<p>需要については、国産材、北洋材ともに保合となっている。供給については、国産材は弱含み、北洋材は低迷している。価格については、国産材は強含み、北洋材は保合となっている。見通しは、国産材は強含み、北洋材は保合となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注は横ばいとなっている。現状は好調、見通しは堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調に推移している。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

10月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は10,827人で、前年同月比6.1%減となった。主要産業別では、建設業（0.3%）、情報通信業（25.5%）、卸売業、小売業（8.7%）、学術研究、専門・技術サービス業（36.6%）、宿泊業、飲食サービス業（2.0%）、生活関連サービス業、娯楽業（18.5%）等で増加し、製造業（▲33.4%）、運輸業、郵便業（▲6.4%）、医療、福祉（▲2.1%）、サービス業（▲18.1%）等で減少した。

労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、10月は1.86倍となり、前月比で0.01ポイント上昇となり、前年同月比で0.11ポイント減少となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	26年	27年	28年	29年	30年
雇用創出数	722人	655人	556人	571人	517人
企業立地件数	49件	57件	57件	58件	70件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 414.0ha、分譲率 97%）

小矢部フロンティアパーク 12.7ha（うち分譲済 12.3ha、分譲率 97%）

・最近の主な立地企業（平成29年7月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
株森田製作所	富山市	精密板金加工	元年11月
アクテック株	富山市	産業機械製造	元年10月
株中村機械	射水市	機械装置製造	元年10月
株ヒラ・テック	富山市	板金製缶加工	元年7月
株富山村田製作所（技能習得施設）	高岡市	電子部品製造	31年4月
株ウーケ	入善町	食料品	31年4月
アルビス株（プロセスセンター）	射水市	惣菜・精肉加工	31年3月
株ウッディパーツ（第3工場）	高岡市	木材加工	31年3月
東亜薬品株	富山市	医薬品	31年2月
株ワイエス・ワン	富山市	ペットフード製造	30年12月
明興工業株	射水市	フッ素樹脂加工	30年12月
太平株	南砺市	プラスチック製品	30年12月
ダイト株（第8製剤棟）	富山市	医薬品	30年11月
株内山精工（新工場）	上市町	汎用機械器具	30年11月
シロウマサイエンス株（新工場）	入善町	プラスチック製品製造	30年9月
コーセル株（研究開発施設）	富山市	電源製造	30年9月
ショウワノート株（新工場・産業観光施設）	高岡市	学習帳製造	30年5月
日本メジフィジックス株（新工場）	小矢部市	放射性医療品	30年5月
株トンボ飲料（新工場）	富山市	ゼリー飲料	30年4月
富山スガキ株（新工場）	立山町	医薬品向け包装材	30年4月
日医工株（新生産棟）	滑川市	医薬品	29年12月
中原化成品工業株（新工場棟）	南砺市	樹脂製品	29年12月
株ゴールドウイン（研究開発施設）	小矢部市	スポーツウエア	29年11月
株スギノマシン（新組立工場）	滑川市	高圧ジェット洗浄装置	29年11月
救急薬品工業株（新生産・研究棟）	射水市	医薬品	29年10月
昭北ラミネート工業株（新工場棟）	富山市	医薬品包装用アルミシート	29年8月
キョーリンリメディオ株（高岡創剤研究所）	高岡市	医薬品	29年7月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>